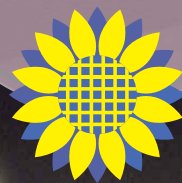


人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

第71号

2024年

2月9日発行



与謝野町 議会だより

令和六年
与謝野町二十歳の成人式会場



主な記事

- ◎議長あいさつ…………… 2P
- ◎12月定例会…………… 3P
- ◎議会懇談会…………… 9P
- ◎一般質問…………… 13P

令和6年 与謝野町二十歳の成人式

《題字》宮津天橋高等学校加悦谷学舎 / 書道部 谷川莉菜 さん

令和5年度12月定例会 特別職期末手当引上案否決

新年の ごあいさつ



議長 宮崎 有平

令和6年の念頭に当たり、議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆さまにおかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素は本町の議会運営に対しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同深く感謝とお礼を申し上げます。

本年1月1日に石川県能登半島で発生しました地震に被災された方々へ心よりお見舞申し上げますとともに、被災地の一日も早い再建をお祈りいたします。

さて、昨年11月には、新聞やテレビで与謝野町の実質公債費比率が夕張市に次ぐワースト2位になったと報道されました。町民の皆様には、大変なご心配をおかけしているところではありますが、議会は、昨年の9月、12月の定例会におきまして、この財政問題について厳しい質疑を行いました。企画財政課から財政シミュレーションが出され、令和4年の実質公債費比率17.2%が、令和10年には、16.2%になる財政シミュレーションが立てられております。この財政シミュレーションが実行されることを議会は、しっかりチェックする責任があると思っておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。議会は今後より一層、議会活動の充実、強化を図り、町民の負託に応えられる議会として前進してまいります。

12月定例会では、議案第91号与謝野町特別職の職員の給与及び報酬に関する条例の一部改正についての議案が、賛成少数で否決となりました。この議案は、国の指定職の期末勤勉手当において、令和5年人事院勧告により増額改定がなされていることから、当町においても、期末手当について増額の改定を行う議案でありましたが、議員自ら、特別職の期末手当の増額を認めないと決断したものであります。また、町民から学校給食費の無償化を求める請願書が提出されており、総務文教厚生常任委員会に付託いたしました。総務文教厚生常任委員会で請願者の意見を聞いたのちに審査しましたが、各委員から活発に多くの意見が出ましたので、慎重に審査するために継続審査となりました。また、議員発議で、パレスチナ自治区、ガザ地区における人道的停戦を求める決議が提出され、全会一致で可決しました。心から世界平和を祈ります。

与謝野町には、財政問題だけでなく、人口減少や少子高齢化などの問題をはじめ、さまざまな課題が残されています。今後も議員一人一人が探求に努めながら、しっかりとした議論を重ね、町民の皆さまに寄り添った身近に感じられる町議会を目指すとともに、議会基本条例に掲げている「町民が安心して生活できる豊かなまちづくりの実現」に一層努力していかねばならないと思う次第であります。町民の皆さまとともに与謝野町の未来に向かって、持続可能な町を実現するために努力いたします。町民の皆さまには、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様にとりまして、幸せで実り多い年となりますよう、議員一同心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

与謝野町議会は、議員一同から石川県の被災地へ義援金10万円を送金しました。

12月定例会のようす

12月定例会は12月1日から19日までの19日の会期で行われた。

議案については、専決処分の報告1件、人事案件1件、契約案件1件、条例9件、補正予算8件、その他4件であり、合計24議案が上程された。

総務文教厚生常任委員会は3日間、産業建設環境常任委員会は2日間にわたり、所管事項について説明を受けた。

一般質問は14人の議員が登壇し、3日間にわたり財政再建、ジェンダー平等、物価高騰対策等について理事者の見解を求めた。

本会議では、主に特別職の職員の給与及び報酬等に関する条例の一部改正について活発に議論が交わされ、質疑、討論を経て賛成少数で否決した。なお、前述以外の全ての議案については、原案どおり可決した。また、議員発議によりパレスチナ自治区、ガザ地区における人道的停戦を求める決議案を提案し、原案どおり可決した。全議案を通し、延べ27人の議員が質疑を行った。

学校給食費の無償化を求める請願については、総務文教厚生常任委員会に付託し、継続審査となった。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億2千791万円を追加し、総額124億7千287万3千円とするものである。

主な歳出は、自立支援給付事業約4千866万円、乳幼児身体発育調査費約4千300万円、借入金償還元金約1億3千714万円等である。9人の議員が質疑を行い、全員賛成で可決した。

一般会計補正予算第5号

利用者がいないのはなぜか

たかおかのぶあき
高岡伸明

問 奨学金の利用者がいないのはどのような理由が考えられるか。

教育次長 3万5千円という金額は、合併前から続いている。近隣市町と差がある。今後見直しも必要である。今検討している。

問 この奨学金を借りるのに、条件や特別な理由があるのか。

教育次長 金利はどうなっているか。また、返済方法はどうなのか。

教育次長 日本学生支援機構等との併用はできないが、特別な条件はないと思っている。

問 何も問題がないのに利用者がいないのは、魅力がないということにならないか。返済が必要ないものが一番いいと思うが。

教育次長 当町の場合は大学に行くのがほとんどである。

教育次長 給付型がでないかということだが、合併前から、月額3万5千円であり、まずそこから考えたい。

問 大学に行くのであれば、高校より多くの費用が必要になると思う。

貴重な三河内郷土資料室

のむらじょうはち
野村生八

固 審議会費用の増額補正があるが、なぜか。**社教課長** どういう機能を發揮すべきか、今後のあり方を協議する。

固 この資料室の特徴は、触れて、使って、知っていただくという、他にない資料室という魅力があるのでは。**教育長** 手にとって触れるというのが、最も大きな特徴。

固 収入に応じて開設費を減らしているが、それで魅力を伝える人材が育つか。**社教課長** 課題として取り組んでいく。

固 コストだけから運営形態を考えるのではなく、この魅力を活かす運営に改善するべき。(議員提言)

インフルワクチン供給は

わだひろゆき
和田裕之

固 今年は、早い時期からインフルエンザが流行している。ワクチンの供給状況や接種状況は。

保健課長 ワクチンの供給は今のところ問題ない。高齢者接種率は75%と例年より増えるの見込んで予算要求した。

サービス残業のない職場を

ながしまひろみ
永島洋規

固 9月議会で、こども園でサービス残業が日常的になっているのではと質問した。時間外勤務手当の支払い予算の増額は無いが理由は。

子育て課長 タイムレコーダーと時間外勤務命令簿の時間に乖離はあったが、職場長の指揮命令下にあたるものではなかった。

固 対象外の勤務は何か。

子育て課長 命令によりない勤務。

総務課長 時間外勤務は事前に申請し、命令したものが対象。

固 その対象外の勤務を一般的にサービス残業というのではないか。9月議会では、勤務を理由にした退職者がいるのではと質問した。過重労働による退職者はなかったと

答弁があった。過重労働が原因と言って退職する人はいない。現職員でも退職を考えている人がある。そのことから考えれば分かるはず。

副町長 9月以降改善を進めている。働きやすい環境が、いい町づくりにつながる。

固 役場勤務でも、サービス残業があるという話があった。役場もタイムレコーダーと時間外勤務命令簿のチェックをして、数値として報告するべき。

副町長 総務課と相談し結論を伝えたい。

固 質問の意図は責任追及ではなく、このままでは大変になり放置できないという思いからである。(議員提言)

無駄をなくす努力を

いえきいさお
家城功

固 消耗品の増額が計上されているが内容は。**総務課長** 印刷用紙などの印刷関係の経費が物価高騰もあり影響している。

固 改めて無駄をなくす努力に取り組むことも重要ではないかと考えるが。**町長** 経費削減についての取組は進めているが更なる努力は必要。

公民館等の耐震化を

すぎがみただよし
杉上忠義

固 消防庁が防災拠点となる公共施設の耐震化状況の調査結果が新聞報道された。京都府で避難所の指定を受けている公民館施設等の耐震化率は77・3%で

全国都道府県で最も低かった。府内市町村の状況では、本町の耐震化率78・8%は「府内ワースト2」であった。

府災害対策課は「自治体所有でない建物には国の支援制度がなく、遅れている理由の一つになっている」と話す

と報じられている。地域住民の身近な自治会活動の拠点であって、避難所になっている公民館の耐震化が急がれるが。**総務課長** 地域と相談していく。各地区の避難場所に集合してから、より安全な場所に避難することを知っている。**社教課長** 町所有の公民館の改修は教育委員会が、また地区所有公民館は、企画財政課の補助制度を活用しての改修耐震化工事となる。

専決処分の報告

令和5年10月19日、宮津市須津の国道176号線において、公用車の荷台から落下した草刈り用具に接触した相手方車両のタイヤを破損した事故について、町の業務上の過失により損害が発生したことを町と相手方双方と確認し、過失割合を町が7割としたうえで、相手方所有車両の修理代金の7割を総合賠償保障保険から相手方に支払うこととして示談を行ったとの内容で専決処分した旨の報告があった。議員2人から延べ3回の質疑を行った。

徹底した対策を

いえきいさお
家城功

固 事故報告の理由に町の管理瑕疵とあるが、瑕疵とは「通常有すべき安全性を欠いていること」という意味であるが、常にこのような考えなのか。

総務課長 対策が不十分であったことは町の瑕疵であると認識している。

固 毎回事故報告があるが責任と義務の分野。認識が甘すぎるのでは。**町長** 命に関わる危険性もあり認識を再確認する。

賞与は成果給

やまさきりょうま
山崎良磨

国の人事院勧告により、特別職の期末手当の増額が上程された。増加の額は0・05月分であった。質疑では実質公債費比率がワースト2位になったなかで特別職の期末手当の増額は疑問であるとの内容の質疑が多くあった。質疑・討論を経て賛成少数で否決となった。

固 給与は生活給であるが、賞与は出来高に対する成果給であると考ええる。今回、人事院勧告により賞与の引上げが上程されたが、どう考えているのか。

町長 従来通り人事院の勧告に従い期末手当の増額を行うべきと考える。

固 実質公債費比率ワースト2位のなかで一定の責任を町長、チェック機能である議員もとるべきと考える。今回の引上げは町民感情と乖離していると考えるが。

町長 今回の実質公債費比率と今回の議案は関係ないと考える。仮に対策を行わなかったら責任はあるものと考えられるが財政分析を行ってきたなかで対策は行ってきた。

固 賞与はどこまでいっても成果報酬である。たとえ対策を行っても、ワースト2位になった以上は何らかの裨(みこ)が必要だ。

町長 財政健全化に努めていくことが重要だ。

公約を果たす姿を住民に

いまいこうすけ
今井浩介

固 毎年人事院勧告に基づき報酬が引上げられている。公約とは住民との約束。町長給与削減と退職金返納はどう考えるのか。

町長 2期目、3期目は町長給与について示していない。3期目からは身を切る改革よりも、身を律する改革を方向性とした。

固 過去の公約でも住民は関心を持っている。

町長 報酬審議会へ諮問していききたい。

固 住民に見える形で、公約を果たそうとする姿を見せてほしい。

町長 現在の社会情勢を勘案した時に金額が妥当であるかは、住民に開かれた会議の場で議論いただくことが適当。諮問に向けた取組を行っていく。

責任はないのか

のむらじょうはち
野村生八

固 実質公債費比率が全国ワースト2との京都新聞報道で、町に大きなダメージを与えた。この責任はないと言われるが、そんなことではないのか。

町長 抑制策をとった説明を、住民にすることが責任。

固 議員にも責任があると考えている。こんな時に自らの賞与を増やす議

案は、とても受け入れられない。町長にも責任があると思うので、この議案は出すべきではない。**町長** 財政全般は、取組により改善してきた。その理解を深めていただくことが、住民の感情に寄り添っていくこと。

財政問題で町民は不安感

和田裕之
わだひろゆき

町 当町の実質公債費比率ワースト2報道で、町民は大きな衝撃、不安を抱いている。当然、故意にそうした訳でも、法律に触れた問題でもない。しかし、そういった不安を抱かせた事は事実だ。私も議員として責任を感じており、特別職の報酬を増額すべきではない。町長も先ずは、不安を抱かせた事に対して謝罪し、そ

れから説明責任を果たすべきである。そうでないと財政健全化、又、議論が前に進まないのでは。町長 提言の趣旨はよく理解した。報道等を通じ、住民に不安が広がった事について、長として大変申し訳なく思っている。住民との対話を通じて、しっかりとした反省、お詫びを通じて議論を発するべきと認識している。

事実とは2つある

家城功
いえき いさお

町 今回の件で2つの事実がある。一つは指数の一つであつても実質公債費比率が全国ワースト2位になったこと。もう一つはそれによつて町民が不安を感じたこと。町長 2つの事実に対しては重く受け止めている。町民に対しては深くお詫びを申し上げる。

町 今回この状況のなかで賞与の上乗せを、町民に胸を張って理解が得られると考えているのか。現状をしっかりと確認して強い意志で今後に取り組まなければと考えるが。町長 今回の見直しは妥当であると認識している。今後は町民が安心できる町政運営に努める。

反対討論

ながしまひろみ

永島洋視（日本共産党与謝野町議員団）

「財政批判が大、改定は見送るべき」

この議案は特別職のボーナスを一般職の改定にあわせて、0.05月引上げるもの。物価高騰対策としての所得税・住民税減税は来年6月実施であるのに、町長や議員が12月実施では理解されない。そして何よりも、実質公債費比率ワースト2という財政運営に対する不信は大変なものである。引上げはとても理解が得られないとして反対する。

反対討論

やまざきりょうま
山崎良磨

「与謝野町は誰のためのもの」

与謝野町は誰のためのものであるか。町長でも議員のものでもない。全ては町民のためのものである。我々は町民の代表としてこの場にいる。町民の感情を一番に考えるべきだ。よってこの議案は反対するものとする。

一般職の報酬等条例の一部改正

令和5年の人事院勧告において4月時点の官民較差を是正するために俸給表が平均1・1%引上げられたことから、人事院勧告に準拠している当町においても同様に初任給を始め若年層に重点を置いて全俸給表（給料表、期末手当及び勤勉手当）について、所要の改定をするもの。 ※令和5年6月の期末手当及び勤勉手当は支給済であることから、12月の期末手当で差額分を支給する。

解体撤去工事請負契約の締結

旧岩屋小学校での学校給食センター建設に関し、旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約の締結についての議案が上程された。反対討論が1人あり、賛否については、反対4人であったが賛成多数で可決した。

子育て支援医療費条例の一部改正

京都府の子育て支援医療助成制度が拡充されたことにより、本町においてもより多くの方を子育て支援の対象とするため、所要の改正を行うものである。令和6年4月1日から施行する。

賛成討論

いえき いさお

家城功（よさの21クラブ）

「賛成するが考えてほしい」

当地域・当町の経済状況や各事業所の運営状況聞いていても、当たり前のように賞与が支給されるような状況ではない。この現実をしっかりと職員の皆さんは理解し、町民の皆さんのために各自の職務職責を果たしていただきたい。

反対討論

のむらしょうはち

野村生八（日本共産党与謝野町議員団）

「岩屋小学校校舎解体の住民合意を」

当給食センター建設予算のとき、校舎の解体費用を削除する修正案を提出した。8対7で否決された。その時は、令和3年度の実質公債費比率が全国ワースト3位であることは公表されていなかった。しかし、全国最悪になることを示し2億円の解体はやめべきとの提案をした。令和4年度で全国ワースト2位となり、この修正案は正しかった。また、岩屋小学校校舎の解体は、住民合意ができていたとは言えない。こういう状況で、解体工事の契約案件には賛成できない。

賛成討論

たかおかのぶあき

高岡伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「子育て支援医療費拡大は町政の鍵」

日本共産党与謝野町議員団は、以前から高校まで制度を拡充するよう議会で質疑をしてきた。この議会で実現する見込みになり、喜んでいる。本年9月から京都府の補助基準が拡大された。町は、令和6年度からの拡充を表明した。子育て支援医療費支給制度は他の自治体と比べ遅れていたが、追いついた。住民要求実現の立場で町政運営をしていく契機になるので期待している。来年3月に予定されていた議会提案を12月議会に繰り上げたことも評価し、賛成討論とする。

議会懇談会・町からの回答一覧

与謝野町

今年度の議会懇談会は3つのテーマを設け開催しました。懇談会でいただいた議会と行政に対する質問や要望について、回答を掲載します。ただし、書面の都合上一部を抜粋しています。
与謝野町ホームページ「第11回議会懇談会報告」で全文をご覧ください。

【懇談会のテーマ】

- ①収益を伴う施設（クアハウス岩滝・リフレかやの里・野田川ユースセンター等）について
- ②公共施設統廃合（認定こども園・体育館等）について
- ③財政問題について



議会懇談会

質問・意見・要望等

回答（対応）

①収益的施設

クアハウス岩滝の収益は見合っていない。	→	現在、町営になっているが、今後もこの形態ではなく、一定の結論を出すように町に言っております。
クアハウス岩滝の新たな指定管理業者が無ければ、このまま町営で運営されるのか。	→	新たな指定管理業者が無ければ、町営を続けるのか、一旦閉鎖とするのか、町の検討案に対し議会で審議します。
クアハウス岩滝の施設について、具体的に数値を示してほしい。	→	クアハウス岩滝は会員数 200 名。指定管理者が運営をしていた時は、マイナス 1 億円の赤字。R4 実績は 95,941 人。総売り上げ 5,290 万円。指定管理料、改修費、諸々維持費を含め儲けの部分を引くとマイナス 1 億円となる。指定管理料 2,800 万円程が 3,600 万円に上がったので、議会は否決しました。
要望があつてのクアハウス岩滝再開だと思うが、本当に運営していけるのか。	→	議員は、基本的に議案として出てきたものを審議する立場である。運営の仕方を議論する立場でないことを理解願いたい。クアハウス岩滝再開を表明したのは町長。しっかりと運営できる状況にするよう議会からも何度も意見をさせてもらっている。オープン後も苦情が出ている。議会からも苦情を伝えている。今後の方針も町から出てくるので、議会としても議員が質問をして判断していきます。
クアハウス岩滝が赤字になることが分かり切っている中、後になってダメであったでは、町長も議員も責任を取らない。もう一歩進んでもらいたい。	→	町の指定管理料は 2,800 万円。それが 3,600 万円となるので、高すぎるのではないかと。リフレかやの里が休止という中で、収益施設としてバランスが取れないとの判断で 2 度に渡って否決しました。
クアハウス岩滝は民間が営業して赤字。町が営業しても黒字になるとは思えない。	→	まだ中間決算や数字が出てないので、はっきりとしたことは言えない。人員的には人数は減らしている。担当課も努力はしている。指定管理者で運営していたときと同じような決算になるのではないかと考えている。今の時点では分からない。収益施設なので、経営が成り立つ一つの判断材料であるが、健康増進施設の意味合いもある。町民の健康管理の為に皆で使ってもらうという公共性もある。2 つを兼ね合わせてどう判断するか。赤字黒字だけでは判断できません。
クアハウス岩滝は指定管理の頃の運営に慣れていて、運営時間など大変不便を感じる。時間延長などの見直しを。	→	営業時間など指摘はしてきた。指定管理者から町直営になり不便なのは聞いている。改善の申し入れはしています。
収益的施設について、住民の健康、観光客の利便性も考え、収益だけでなく多少の赤字になっても良いとの考えを議会にはもってもらいたい。	→	健康施設との位置づけもあり多少の赤字になっても続けるべきとは思っております。今後においては利用料の見直しも必要ではないかと思います。
クアハウス岩滝の営業形態が変わったが、今まで指定管理者にいくら払い、町営でどれぐらい経費がかかるのか。	→	否決になった指定管理料は 3,600 万円程度で、直営ではこれより経費がかからない見込みです。
クアハウス岩滝で指定管理者に手をあげた業者が修繕工事を行っていたがどうということか。	→	町の指定工事業者として、適正な請負で工事をされております。
実際、クアハウス岩滝にいくらの投資がされているのか。プールの天井は必要ない。温度管理ができていない。苦情に対応していない。誰も責任を負わない。	→	承認したから我々にも責任がある。プールの天井も寒いから付けたと理解しているが、結果的に寒いなら検証が必要と思う。過去に利用者の皆さんからの提案に基づいて改善したと認識している。機械の老朽化や故障についてしっかりとチェックをしているつもりである。クアハウス岩滝には既に 10 億円の投資がされていると思う。今後、残していくのか無くすのか協議が必要と考えている。

固 住民税非課税世帯への 7 万円給付（約 2 千 4 0 0 世帯）の給付はいつ頃かという問い合わせがある。いつ頃の給付見込み（振込）となるのか。

福祉課長

和 田 裕 之

住民税非課税世帯給付は

物価高騰対策支援事業として、住民税非課税世帯（2 千 4 0 0 世帯）に一律 7 万円を支給する事業。事業費は給付金 1 億 6 千 8 0 0 万円、事務費 2 5 2 万円。2 人の議員から質疑があり、全員賛成で可決した。

一般会計補正予算第 6 号

12 月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対
（議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の賛否を決定します）

議 案	賛 成	反 対	杉 上 忠 義	藤 田 史 郎	野 村 生 八	高 岡 伸 明	浪 江 秀 明	渡 邊 貫 治	今 井 浩 介	山 崎 政 史	河 邊 新 太 郎	永 島 洋 規	三 田 義 幸	安 達 種 雄	家 城 功	和 田 裕 之	山 崎 良 磨	宮 崎 有 平
与謝野町特別職の職員の給与及び報酬等に関する条例の一部改正について	4	11	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	—
与謝野町職員の給与に関する条例の一部改正について	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約の締結について	11	4	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	—

請 願

学校給食費の無償化を求める請願

請願者 与謝野町の給食費の無償化を求める会 代表 石野洋子

与謝野町内の小中学校の給食費を無償化することを求める請願書が「与謝野町の給食費の無償化を求める会」から議会へ提出された。

12 月定例会の初日に総務文教厚生常任委員会に付託され、12 月 14 日に請願審査を行った。審査では多くの意見があり、慎重に審査をする必要があることから継続審査となった。

請願事項

- 小中学校の給食費を無償化してください
- 小中学校の給食費を無償化するための財源措置を京都府と国に求めてください

その他	質問・意見・要望等	回答（対応）
	議員が町民の声を聞き、意見を出し合って、議員が町に代弁する。議員も真剣にならなければいけない。	→ 各議員も勉強して頑張っている。色々な皆さんの知恵をいただきながら頑張っていきたい。
	敬老会が町開催から各区開催になったが割り当てられる予算が少なすぎる。	→ 総務文教厚生常任委員会で初めて聞いた。地域に丸投げするのは、町の敬老の気持ちが伝わらない。総務文教厚生常任委員会ではせめてハガキなどでお知らせすべきと伝えた。総務文教厚生常任委員会において老人クラブと面談し意見を聴取する予定です。議会でも敬老会を何故するのか、意味を持つように提案しております。区長会などで声をあげていただくことも必要と思います。
	学校給食の無償化はどのくらいの予算があればいいのか。日本、世界を背負って立つ若者のことを考えると安いのではないか。是非実現してほしい。	→ 小中学校の給食無償化は約 7 千万円で町予算の 0.57%。全国では無償化の流れである。議会ではまだ、議論はしていません、今後の課題かと思われます。
	区長等の身内が予算審議に参加するのはおかしいのでは、除外とすべきだ。	→ 議会のルールを定めた「議員必携」という書籍によりますと、予算審議においては除外には該当しないとされております。
	学童保育を各小学校の校庭にたててほしいと以前から要望している。	→ こどもの環境づくりについては、徐々に進んでいる。これからも良い町になるよう議員もがんばります。
	隣組に加入していないため広報誌が見れない方がいる。	→ 町のホームページに広報誌は掲載しています。又、与謝野町のLINEに登録してもらうことも有効と思われます。

町からの回答

	要望書 及び 質問書	回 答
①	浜町区の高潮対策について、海岸地域全体の抜本的な対策をお願いしたい。	→ 海沿いの護岸は京都府の管理となりますが、解決が難しい問題と認識しています。既存の海への放流口を塞ぐ必要がありますが、調整池やポンプ規格などが巨大となることから実現性は乏しく対応に苦慮しています。
②	自転車道の照明について、加悦地域及び岩滝地域へ早急に整備をお願いしたい。	→ 自転車道の照明設備は京都府の管轄となりますが、石田区（石田橋付近）から三河内区（奥山川付近）まで整備済みで、今後も加悦地域に向けて順次整備される予定と聞いています。また、岩滝地域については、既存のソーラー電灯の修繕を実施する予定と聞いていますが、整備完了までにはもう少し時間を要すると思われるので、ご理解をお願いいたします。
③	自転車道のトイレ、休憩所を岩滝地域にも設置していただきたい。	→ 自転車道のトイレ、休憩所は京都府の管轄となりますが、岩滝地域にトイレを設置する予定はないと聞いておりますし、休憩所については府営住宅弓木団地付近の自転車道内に東屋とベンチが設置されておりますので、そちらをご利用いただけますようお願いいたします。
④	野田川沿い（日本冶金側）のジョギング道路 400 m 程度が未舗装のため草が生茂っている。舗装をするなど対応をお願いしたい。	→ ジョギング道路は京都府所管の施設ですが、維持管理については与謝野町が実施しています。草刈は、他の町道と同様に年 1 回実施していますが、ご要望の舗装は京都府の対応となりますので、京都府へ府民協働型インフラ保全事業等でご要望いただきますようお願いいたします。
⑤	夜間暗いので、海岸道路のフットライトを歩道と自転車道とのあいだに移設していただきたい。	→ 海岸道路、自転車道の照明設備は京都府の管轄となりますが、移設する予定は無いと聞いています。
⑥	阿蘇シーサイドパークの水銀灯が夜間一部消灯となっているので危険。東町区と再協議して、水銀灯を点灯していただきたい。	→ 公園につきましては、明るい日中に利用する場所であること、また電気代等の経費を総合的に勘案し、深夜となる午後 1 0 時以降は阿蘇シーサイドパークの外周の 6 基の点灯に変更しています。つきましては、現在の深夜 6 基を点灯する運用を変更する考えは無いことから、地元区との協議は予定していません。
⑦	アスファルトのオールカバーは、防音に効果的なので増やしていただきたい。	→ ご要望の工法は、現況路面の状況により長期間の効果が期待できないケースが多くあり、実施する場合には慎重な工法選定の必要があります。過去に実施した路線もありますが、その工事により、後年度の舗装修繕工事で工事費が高くなる原因となる場合もあることから、慎重な判断が求められています。

	質問・意見・要望等	回答（対応）
① 収益的施設	リフレかやの里は、京丹後のあしぎぬ温泉のように企業に運営させるべき。	→ 町も地域と相談しながら、今後の方向性を見出す予定です。設置条例にふさわしいかも含めて審議、チェックしていきます。
	収益を伴う施設で収益が上がらない施設は、見切りをつけるべき。	→ 公共施設は必ずしも収益のあがる施設ばかりではない。町民のために赤字でも運営していく義務もある。少しでも黒字を目指すのは町の責務であると考える。
② 公共施設統廃合	与謝保育園と小学校の跡地をうまく活用してほしい。	→ 地域の皆さんが有効に活用されています。公共施設についてはマネジメント委員会で審議されています。それを議員も確認し無駄にしないようにします。
	石川保育所の建て替えをすると聞いた。説明をお願いしたい。	→ 野田川地域にある 3 つの保育所をまとめて、大きな認定こども園を石川に作る町の計画が発表された段階です。議会として承認も議論もしていない状況。財政が厳しい中で議員の中でも意見はわかれています。
	公設民営化すべき。与謝野町は進んでいない。時代の流れに乗っていない。	→ 全く何もしていない訳ではない。公共施設マネジメント委員会で公共施設をどのように管理運営していくのか、売却も含めて意見交換をしています。
	認定こども園に関して、保育士、保護者の意見を聞いているのか。	→ 公共施設マネジメント委員会でも、保護者、将来保護者になる方の意見、現場で働く方の意見を聞いて、どういった形の施設、運営にするのが良いか意見を反映するよう行政に伝えられている。行政もアンケートをとって反映していくようにと言っています。
	新建材に弱い子供もいる。こども園を新設するよりも旧建材を利用してリノベーションしてほしい。	→ 議会としても地元にしちゃんと説明し理解をしてもらうように言っている。リノベーションするにもアスベスト問題もある。どういう方向が良いのか最善策をつねに協議をするよう町に伝えています。
③ 財政問題	ワースト 3 の財政を健全化するために議会としてどのような考えか。	→ 令和 3 年度の実質公債費比率がワースト 3 になったのは間違いはない。町の財政計画では新しい借金を毎年 10 億円規模にする。大型事業などで 10 億を超える場合は前後の年で調整する計画であり、実質公債費比率も下がってくると理解しています。
	下水道料金の料金改定をしなければいけないが、いつから赤字が多くなり、一般会計から繰り入れをしなければいけなくなった原因は何か。	→ この地域は家が離れているので、整備する管の費用が多くなることが想定をさせていました。下水道事業開始時から赤字です。京都府の処理施設は将来を見越し大きなものを作る必要があり、その費用が財政を圧迫しています。このことは、全国的に見ても、範囲が広く人口の少ない地域で同様のこととなっています。町では、国には全国下水道協会を通じて制度改正や交付税の要望をしています。京都府についても補助金などの要望をしています。
	下水道については、人口が少ない、距離が長いことは解り切っていた。制度設計が悪いのではないか。	→ 最初から独立採算でできる見込みはなかったと思っている。最初から一般会計からの繰り入れ事業を行っている。国からの補助が無い限り今後も続くと思われる。下水道は文化的な生活を送るために必要な設備であるので、制度がこの地域にあっていないので、この地域に合わせた何らかの国からの補助制度を働きかけていく必要があると思っています。
	議会として実質公債費比率が高いなかワアハウス岩滝、リフレかやの里、ユースセンターそのものを議会としてどのように議論していくのか。	→ 与謝野町は借金返済の比率が大きい。運営費に借金はできないので実質公債費比率には直接は影響がない。借金の返済が沢山になると比率が大きくなるので、ここをコントロールすれば財政は改善できる。毎年の借金の額を毎年 10 億円規模に抑えれば事業はできる。基金をかなり積み立てしているので財政が破綻する状況にはない。財政計画に基づいて運営していけば改善していくと思っています。
	もう一つ新しい幼稚園（認定こども園）ができるかと聞いた。なぜ無駄なことをするのか。人口が減っていつているはず。人口が増えているのか。休校となった小学校で対応できないのか。施設を作ると維持費が沢山必要。旧加悦町がいい例で、反省もないのか。	→ 旧加悦町では辺地債という有利な借金で、交付税として 7 割返ってくる有利な借金を使うしかなかった。結果として周辺部に施設ができたのご理解下さい。こどもは確実に減っていくと認識している。市場、山田、石川を無くして、石川に認定こども園を作るという町の計画となっています。
	交付税、補助金がでるので負担が少ないという見解はおかしいのでは。	→ 有利な制度を使い、交付税参入を用いる考え方で財政をうまく運営していくことは必要かと思われます。
その他	行政のチェック機能だけでなく、住民の意見を聞きながら、行政に伝えるのも議員の役目だと思うがいかがか。	→ チェック機能を前提に、改善案などは、一般質問や議論の中で、各議員が発言している。その意見が行政側に活用されていないかもしれない。しっかりと意見は言っています。

一般質問

問 過日の報道により当町の実質公債費比率が、全国でワースト2位になったことが内外に大きく浸透した、9月議会では地方振興基金を取り崩し対応することのことだったが変更はないのか。

町長 9月に示した地方振興基金17億円を取り崩すプランでは他の事業にも影響があるため、基金の取り崩しは約7億円に留め、年間の地方債発行額を10億円規模に抑制するシミュレーション案に変更した。

問 基金を活用する対策以外に手を付けないところはないのか。

町長 今後、当初予算編成時に、歳入面では地方交付税の減少等、大幅な一般財源の増加が見込めず、社会保障経



速やかに対策を



三田義幸 議員

問 池ヶ成公園の雑草刈りを

町長 温江地区にある池ヶ成公園の愛好者の方から、雑草が多くなってきたので、草刈りをして欲しいとの要望が

問 昨年4月1日から9月30日までの期間に実施した「よさの地域支えあい商品券事業」について、折角、この政策を実行する為の「ノウハウ」を得たので、納税の一部を住民の皆様に還元し、ささやかであっても、何か楽しみを持つ事は良い事だと、私は考えるので毎年一回、この事業の恒久化を提案する。

町長 この事業は、国からの交付金ありきで実施したので、今後、与謝野町が単独の費用での事業実施は考えていない。

双峰公園のモノレター

問 与謝地区にある双峰公園を元通りに復元して欲しいとの要望を行ったなかで、動かないモノレターは撤去するとの答弁に対する実行は。

町長 答弁のとおり、今後のリニューアル工事に合わせて、撤去が妥当。



山崎良磨 議員

問 合併以来、まるで減らせていない職員人数も考えていくべきでは。

町長 全体的な議論が必要と考える。適正化をはかる最中である。財政計画が令和5年度、令和10年度であるためこの間に結論を出すことが一つの目安と考える。

問 費の増大等により厳しい財政運営が予想されるなか、第3次与謝野町行政大綱に留意する他、職員全員が当町の財政状況を十分に認識・共有し、財源の確保・捻出や、施策のスクラップ&ビルドなど、不断の事業見直しを徹底したい。



いつまでも放置せずに撤去を

Q 実質公債費比率の対策は

A 基金と地方債を活用

Q よさの地域支えあい商品券の継続を

A 国の交付金での実施なので町単費では不可能

委員会・事務組合報告

産業建設環境常任委員会

報告者 和田裕之 わだひろゆき

令和5年11月17日
常任委員会視察研修
日帰りの日程で視察研修を実施した。まず、鳥取市役所においては、全国的に「公共施設の更新問題」が大きな課題となっているなか、公共施設の統廃合や民営化、また指定管理者制度等、様々な取組を実施し、その成果を出された。特に、公民連携、いわゆる「PPPの取組」を積極的に導入されている。次に、豊岡市の市営健康増進施設である「ウェルストーク豊岡」は、プー

ルやジム、スタジオ等「フィットネスゾーン」、人工温泉やサウナ等「スパゾーン」、クライミング、グウォールや多目的コート、調理実習室等があり、豊岡市として、まちづくりを進める根底と位置づけ、「心と体の健康」を全ての基礎とし、約50億円の巨費を投じて、総合健康ゾーン整備・運営事業として2010年にオープンされている。

宮津与謝消防組合議会

報告者 山崎政史 やまざきまさふみ

令和5年10月23日
令和5年第3回定例会
◎議案第6号、公平委員会委員3名のうち1名の任期満了にともなう、委員の選任が提案され同意。
◎議案第7号、対象火気省令の一部改正により蓄電池設備及び固体燃料を使用する火気設備等について基準の見直しにともなう宮津与謝消防組合

議長報告

報告者 宮崎有平 みやざきゆうへい

令和5年10月17日
青森県五戸町議会から議員4名と事務局1名が「自然循環型農業の取組について」の視察研修に來られ、説明の後、与謝野町有機物供給施設を見学された。
令和5年10月31日
主要地方道宮津養父岩屋峠改良促進協議会総会。令和4年度収支決算は、収入25万7千105円、支出9万9千998円。令和5年度予算は23万7千110円で、事業計画では、第2工区についても、通行が困難な箇所が残っており、確実に予算の確

決議

○パレスチナ自治区、ガザ地区にける人道的停戦を求める決議

提出者 今井浩介 いまいこうすけ

国連総会で令和5年12月12日に採択されたパレスチナ自治区ガザ地区での「即時の人道的停戦」などを求める決議について、与謝野町議会は、令和5年12月19日の本会議において、国連総会決議の早急かつ完全な履行を求める決議を、全員賛成で可決しました。

Q フレイル状態の方を把握しているか

A 健康状況を確認する調査を行っている

問 フレイル状態に陥っている高齢者を把握しているか。

町長 75歳以上の高齢者を対象に、高齢者の実態にあった保健事業を実施する事を目的として、健康状態を確認する調査を行っている。「筋力の低下」や「歯や口の衰え」を回答される方が、一定数おられる。

問 フレイルに対する取組はされているか。フレイル状態にある方に対し予防、原状回復はされているか。

町長 岩瀬・加悦の保健センター及び野田川わくばるの3会場において月1回「ふれあい元気づくりの日」として血圧測定や健康相談、保健師や管理栄養士による講話や体操を実施している。また、75歳になられた方の内、要



より良い調査を

介護認定を受けていない方を対象に「これから10年元気で過ごす」ことを目標とした健康運動指導士による講話といったフレイル予防事業を実施している。

問 他の自治体に比べると、力を入れていないと聞くが。

町長 介護予防事業を工夫しながら進めている。「フレイル」といった言葉は使っていないが「健康と介護の状態の中間」であることから、予防、原状回復につながっているものと考えている。



たかおか けんじ 議員

Q 見える町づくりを問う

A 年次計画を立て実効性を担保する



わたなべ けんじ 議員

問 京都府北部医療センターにおける看護学校整備合同会社（以下「合同会社」）の基本的なプロポーザルの考え方は。

町長 合同会社が策定した看護学校整備事業計画には「府立看護学校の拡充等」と「機能拡充に係る基本方針」の2つが記載されている。「府立看護学校拡充等」としては、北部看護人材確保のため定員増、看護職員の生涯教育の拠点としての卒後教育等の支援を、また「機能拡充に係る基本方針」については、北部地域における「質の高い看護師の養成」、「看護職員定着の拠点機能」そして「地域との連携」、「学生確保につながる魅力ある学校づくり」が掲げられている。



より良い校舎を

問 学舎と地域の交流場所は。
町長 計画のなかで地域の医療機関と連携した看護教育の充実および地域に向けた健康教室の開催などを掲げており看護学校が町、地域に関わりをもっていたことは非常に有益である。
問 この機会に京都府に一層の協力をお願いする。
町長 病院へのアクセスとして伊根方面、京丹後方面の道路環境の整備をお願いしている。

Q ニつの外来種の除去を希望する

A 環境保全活動の一環として次年度検討する



ふじた しろう 議員

セイタカアワダチソウは根株が強いため、頭花を付ける前に刈り取る。そこで、毎年実施されている「町一斉クリーン作戦」を検討し、時期を早めて外来種除去作業を行うことを提案する。

町長 令和6年度からの環境保全活動の一環として、農林環境課が各地域の区長会や農家組織等との会議において、駆除の取組について意見交換を行っている。



官民で除去を

問 SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」内で、外来種の侵入を防ぎ地域の生態系を守ろうと述べられている。その外来種は、オオキンケイギクとセイタカアワダチソウであり、我が町の道端・河川敷・雑草地などに、大量に生殖し続けている実状だ。町としての認識・意識付けは。
町長 生態系被害防止外来種として認識している。特に特定外来種に指定されているオオキンケイギクについては、広報よさのやCATVで啓発・駆除等と呼びかけている。
外来種の除去
問 除去作業からオオキンケイギクは種子ができる前に花を根ごと引き抜き袋に入れて、燃えるゴミとして出す。

Q 安心できる説明責任、行政運営を

A 迅速な対応の情報発信に努める



いまい こうじ 議員

問を要したため、この時期での説明となつたことは反省している。

問 説明責任が果たせていない。住民の不安を払拭し安心を与えるのは早急にすべきこと。

町長 町政全体の理解を広めるよう対話の時間、情報発信の工夫を凝らしていきたい。

問 ワースト2の報道は災害にも匹敵する大きな不安案件。住民の立場にたつて、寄り添って物事を考えてほしい。

町長 住民の立場にたつた情報発信の重要性を改めて痛感した。今後迅速な対応に努める。



しっかりと説明を

問 当町の財政状況について、ワースト3と報道があり、本年さらにワースト2と大きく報道された。この間、多くの住民から不安の声を聞く。当町は今後大丈夫なのか。
町長 4つの財政指標の内、実質公債費比率がワースト2になったことは事実。今後地方債償還も随時完了することから、地方債発行額を年平均10億円規模に抑えることで、令和5年度決算をピークに緩やかに減少する見込み。丁寧に説明し、一人でも多くの方々に納得頂けるよう努める。
問 ワースト2と報道されてから一カ月も動きが無かったが。
町長 報道機関とのやり取りに時間を要した。その後資料を精査するのに時

Q 現状を踏まえ先を見据えた取組を

A 充分な協議をして議論を進める



やまぎまさふみ 山崎政史 議員

問 戦没者遺族会の現状は高齢化が進み後世への引継ぎが困難になっていると言われている。町は毎年、追悼式をどのような思いで開催しているのか。

町長 ご遺族の皆様のご苦労に対し敬意を表すと共に恒久平和実現のために不断の努力を続けることをお誓いしている。

問 高齢化により遺族会の活動が困難な状況になるなかで町としての役割が大きくなってくると考えるが今後の関わり方は。

町長 忠魂碑・忠霊塔の管理について全国的な問題であり、協議会を設置し検討している所もある。この先進事例から本町としても、遺族会と行政だけで決められないと考えており、学識者

に参画いただいて戦没者及び犠牲者への哀悼や新たな顕彰の形を諮問する協議会の設置を検討していきたい。

問 忠魂碑・忠霊塔は遺族や各地区によって維持管理をすることが年々厳しい状況になっている。今から5年10年先を見据えた取組を協議していかなければいけないタイミングだと考える。

町長 現行に委ねるのではなく行政、遺族を中心とした新たな体制のなかでそれぞれの忠魂碑の在り方を検証しなければならぬ。遺族と充分な協議をし、納得いく形で議論を進めていけるよう努力をする。



岩滝の忠霊塔

Q 財政再建に全力を挙げる決意を

A 地方債(借金)発行額を平均10億円規模に



説明ある行政運営

問 総務省が22年度決算を基にした本町の借金返済の負担度「実質公債費比率」(3年平均)が17・2%になりタ張市に次ぎ全国市区町村のワースト2と新聞が大きく報道。NHK京都ニュースも放送した。ついに知事の定例会でも質問が出るに至った。町長の見解は。

町長 町民の声に耳を傾け財政健全化を着実に進める。町財政状況を丁寧の説明する。

問 10月30日の定例会見で記者の質問に対して「財政健全化と投資は両立できる」とあったと報じている。科学的根拠(エビデンス)を町民に示す必要があるが。

町長 基金を有効活用する。基金(貯



すぎがみたたよし 杉上忠義 議員

問 NHKテレビで特集された働きながら家族などを介護する「ビジネスケアラー」問題は、反響が大きかった。本町の事態と今後の取組は。

町長 町の「介護保険事業計画」策定のために昨年度実施したアンケート調査結果から介護者の状況が分かる。介護者の勤務形態は、フルタイムとパートタイム合わせて52・3%。ビジネスケアラーに寄り添うことができる包括的な支援、相談体制の充実に取り組む。

Q パートナリシップ制度の導入を

A 来年度中に導入することになっている



のむらしゅうはち 野村生八 議員

設置し、検討していただいている。

財政運営の変更

問 12億円もの入るべき交付税を放棄する財政運営はやめるべきだ。

町長 9月議会での議論を踏まえ、17億円の基金を使う案は、他の事業にも影響があり、7億円に減額するよう変更する。

問 町民への財政の説明は事実を伝えていない。実質公債費比率は令和4年度17・2%で全国ワースト2位。今後危険な18%に近づく。

町長 議会での議論のほか、何かの形でより詳しい説明ができると思っている。



皆が暮らしやすい世の中を

Q ワースト2、町民に謝罪すべき

A ワースト2となることは認識していなかった



こども園予定地

問 財政の新聞報道は誤りであり抗議したと発言。内容に誤りはなく、報道の自由への介入では。

町長 報道の自由に抵触するものではない。

問 ワースト2に、ならないようにするのが町長の責任。その反省がない。

町長 説明を通じ住民の理解を広げていく。

問 原因は下水道整備と説明。元年12月の資料では、3〜5年度の借金返済額は18億円台と高い。この事態は元年で判明。繰上償還の対策は3年3月で遅れ、現町政の責任。

町長 財政分析に基づき繰上償還を実施した。何もなかった訳ではない。

問 町総合計画に基づく実施計画の未



ながしまひろみ 永島洋規 議員

策定を第三者委員会で指摘。計画的な事業実施が出来ていなかったということ。

町長 総合計画の大枠は出来ていた。

問 野田川こども園整備計画書提出はこの12月で3月議会には整備予算の一部を提案と説明。14億円もの事業が3カ月で合意承認出来るのか。

町長 住民・保護者に十分説明する。

問 財政見通しでは、整備を2〜3年ずらせば、基金取崩もなく、過疎債が使え5億円の交付税も入る。選挙公約に合わせるために無理となる。

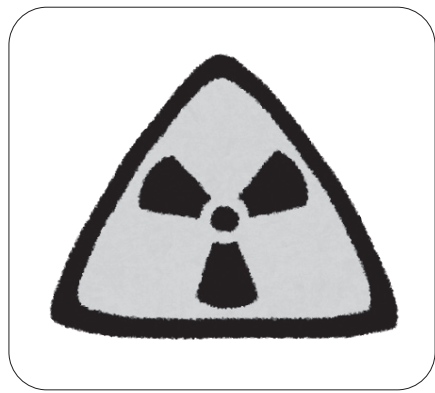
町長 多くの住民の願いだと判断している。

Q 放射能汚染から住民をどう守るか

A 国の備蓄の資材が給付される

問 当町は関電高浜原発から40kmに位置している。仮に原発に事故が発生した場合、放射能汚染からどの様に住民を守るか。丹後震災から96年が経過、福井震災から75年が過ぎ、近年、国内各地で頻繁に地震が発生している。国では50kmを「あらかじめ対策をとる区域」と定めている。原子力災害時には放射性物質が大気中に放出し、呼吸や飲食で甲状腺に集まり、内部被ばくとなり甲状腺がんが多発する。伊根町、宮津市、舞鶴市、綾部市、福知山市は備蓄されている。法律で定められているが、この市町と当町の立地は同様である。仮に当町に放射能汚染が発生した時の対応は。

町長 府ではUPZ外でも高い放射性



対策が重要

を確認の場合、府内14カ所にヨウ素剤備蓄があり、府、市町の職員が配布する。

問 原発だけでなく、東アジアの国際問題にしても放射能問題が生じる懸念など、ヨウ素剤が早く町民にわたる事が必要。京都府の危機管理部原子力防災課が与謝野町人口規模で試算すると、ヨウ素剤5年間分で230万円である。町で備蓄の考えは。

町長 府の原子力被害は、当町もUPZ内と同様の安定ヨウ素剤予防服用が(国の指示で)配布される事となっている。



あだちたねお 議員

Q ごみの減量化と有料化の取組は

A 回収袋を製作し各戸配布の取組を考えている



かわべしんたろう 議員

問 雑がみ分別の認知度を高め、分別行動のきっかけを提供する方策として住民への雑がみ回収袋作製配布について問う。

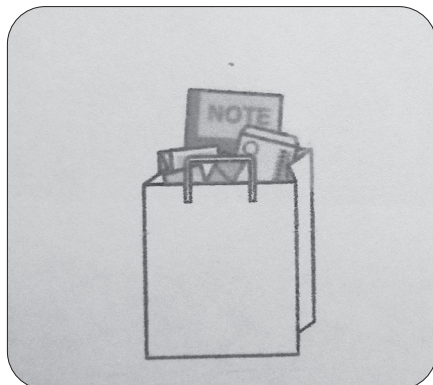
町長 来年度においては回収袋を製作し各戸配布する取組を考えている。

問 本町におけるごみの有料化についての考えは。

町長 ごみの有料化については、一時期検討をしていたが、ごみを減らす施策から行っていくことが必要であると考え、町内で資源回収を行う団体への活動補助金や生ごみを堆肥化、減量化する生ごみ処理機購入補助金事業の継続をしていく。

消防団員の減少について

問 消防団員が昼夜を問わない危険を



雑がみを正しく分別すれば資源

伴う活動に見合うと思えるような処遇改善は。

町長 団員報酬は、年額で、5万8千400円、火災等非常出勤は1回につき2千500円、訓練等は1千500円、点検・防火広報等は1千円を支給している。令和3年度に出勤手当の見直しをおこない増額した。

災害弱者の避難支援について

問 令和3年5月の災害対策基本法の改正により計画作成が市町村の努力義務となった。進捗状況は

町長 与謝野町地域自立支援協議会の協力で、登録台帳と個別避難計画の様式について、当事者の視点で見直すなどの取組を行っている。

Q 物価高騰で町民や事業者への対策を

A 生活が苦しい世帯や事業者へ対策を実施する

問 近年のこの物価高騰は、町民の生活、また事業者の営業に大変深刻な影響を与えている。住民負担は大きく、現状に苦しむ住民の声を私は多く耳にする。町長はどう理解され、又、感じているのか。

町長 生活が厳しい世帯の悲痛の声、事業者の経営が厳しい声も聞いており、対応・対策を検討、実施していく。クマの人身被害防止を

問 日本各地で相次いで報道されているようにクマによる被害が後を絶たない状況である。出没する場所も人通りが多い場所、民家に近い場所等、いつ人身被害が起きてもおかしくない現状である。当町の取組の状況は。

町長 クマの出没は様々な方法で情報発信し、クマに遭遇しないように注意



物価高騰は深刻

喚起を図っており、既に被害を生じさせたクマの個体は捕獲をしている。

火災予防啓発・対策を

問 冬は空気が乾燥し暖房器具を使う事から、火災が発生しやすい季節である。家庭・地域ぐるみで防火意識を高め、火災警報器の設置や期限切れ、バッテリー切れ火災警報機の交換、消火器の設置も含め、火災予防啓発が必要だ。

町長 町消防団では、毎月広報誌でページを設けて、火災予防啓発や警報機、消火器の設置を呼び掛けている。

Q 町は町民のもの、町づくりは町民のために

A 改めて町民に対しての形を吟味し進める



いえき いさお 議員

問 町長には町が進める施策や政策には、PDCAサイクル(計画・行動・検証・次に活かす)の重要性を常に訴えてきた。それらがしっかりと機能すれば、町長が目指される町づくりは町民のために達成できるはず。再度それらを見直し改善しながら行政運営を進めるべきではと考えるが。

町長 各事業や取組において常に意識をもって進めているが不十分な面も否めない。

問 多くの面で計画性や取り組み姿勢の拘りなど。「ただやること」だけが目的のように感じている。町民が主役である共働のまちづくりは、このままではなし得られない。

町長 改善に向けての協議を重ね可能



PDCA サイクル図

性を見出す努力を続けていく。

問 全ての基本は「話し合い」。行政だけ、議会だけ、町民だけでもなく、すべてが同じ方向を見据えて町づくりを進めなければ、町長の掲げる「みんな・みらい・みえる」の実現はないのでは。

町長 この町で生活されるすべての方が、町に誇りを持っていただけるには指摘のとおりであり、いろんな形での話し合いを強化し進めていく。

問 町は町民のもの、町づくりは町民のために。

町長 その思いについては全く同感。住民のためのまちづくりを積極的に進めるよう尽力を続ける。



まちの宝
子どもページ

つばきこども園の紹介

「笑顔ひろがる つばきこども園」を目指します



「いらっしゃいませ」と場面をイメージして遊び、創造力や発想力を育みます。



0～5歳児が育ち合う中で、思いやりの心が育まれます。



自分達で出来ることは自分達で行います。

「いっぱい遊ぼう 笑顔ひろがるつばきっず」～心動かされる環境の中で育ち合えるこども園をめざして～というテーマを掲げています。7時半～19時までの開園時間の中、一日の大半を過ごす園児が安心安全に過ごせるよう、また園周辺の豊かな自然の中で伸び伸びと遊び、豊かな体験活動を取り入れながら、0歳児から5歳児までが共に育ち合えるような環境を整えています。その中で園児は試行錯誤を繰り返しながら、喜びや嬉しさ、悲しさや悔しさを経験し、生きる力の基礎を培います。

「保育者も子どもと一緒に楽しむ」ことを原点に置き、優しく温かく、誰からも愛されていると感じる関わりを大切にし、笑顔いっぱいのつばきこども園を目指しています。

山田小学校の紹介

～「ふるさと山田」のことを学び、発信する活動「We Love 山田」～

山田小学校では、今年度の学校教育目標を「夢をもち 自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」と掲げ、地域の中の学校として、保護者や地域との連携を大切にした「与謝野町ならではの教育」と、効果的な特色ある学校づくりに取り組んでいます。

その中の一つとして、総合的な学習の時間、生活科、社会科等の学習で地域のことを学んでいます。子どもたちは住んでいる山田地区、そして与謝野町について様々なことを発見し、そのよさを伝える活動をととして「ふるさと山田」「ふるさと与謝野町」への愛着を高めています。



毎年、地域の方にお世話になって田植えや稲刈りをしています。



地域の神社や公園を探検しました。初めて行った場所もあり、新しい発見をたくさんしました。



食生活改善委員の皆様「丹後ばら寿司」について教えていただき、調理をしました。



区長様から山田地区の祭りの話をいただきました。